

Terima kasih! (ありがとう)



①ダンサーたちと一緒に踊る生徒たち。客席で見守る子どもたちからも大きな歓声が巻き起こりました。②今年度中学生海外派遣でPJ市を訪れる生徒たちからマレーシアについて質問。③子どもたちに語りかけるPJ市長。④全校生徒と記念撮影。ダンサーが退場するまで大盛り上がりでした。



友情で、世界をひとつに!

中学校を訪れたマレーシア・PJ市のダンサーたち。子どもたちとの国際交流は、「誰もが幸せに生きることができる未来」へとつながっています。

「ちは本当にかわいいですね」とダンサーは中学生との交流を笑顔で振り返ります。言葉は違ってもダンスで心を通わせる。この日、国や人種を超えた絆と忘れられない思い出が生まれました。

三芳から、世界へ

フライマックスには大きな歓声に包まれ、会場が一つになった交流会。参加した生徒たちは「ダンスを見てマレーシアに行ってみたくなった」と異国の地に想いを馳せます。

約30年前から交流を続けている三芳町とPJ市。青年会議所の姉妹提携に始まり、PJ市フオークロアフェスティバルへの参加や中学生のマレーシア派遣など、若者を中心とした国際交流を行っ

世界はひとつ! 友情は共通語!



ています。日本から遠く離れたマレーシアで出会う新たな仲間。異文化の中での経験は若者たちの人生の糧となっていくます。

誰もが幸せな未来へ

「未来をリードする皆さんには、よりよい町のためにも、自

毎年、町の中学生をPJ市へ派遣。様々な国の学生が集い、アクティビティやディスカッションなどを通して、国や言葉を超えた交流を深めます。最終日には涙で再会を誓う姿も。今年は11/19(火)~25(月)に実施予定です。



また会おうね!

キンチョクなリズムが響く中学校の体育館。9月9日(月)、PJ市のダンスチームが三芳中学校を訪問し、子どもたちとの交流会を行いました。



↑PJ市のダンサーのパフォーマンス。体育館がこの日限りのショーステージになりました。

手をつなぎ心をつなぐ

たくさんのマレーシア手旗がはためくなかで迎え入れられたダンサーたち。全校生徒が注目するなか、みよしまつりのステージとは異なる3曲を披露しました。演目は現地のパーティーなどで人気があるダンス。軽快なリズムで会場を盛り上げていきます。最後の1曲では生徒たちを壇上に招き入れ、手を取り合って踊る場面も。「子どもたちと一緒に踊ることができて、すてきな時間を過ごせました。三芳の子た

in マレーシア

POINT/ 世界の仲間とダンスで友達に

昨年9月、PJ市で開催された「アジア太平洋ユースフォークロアフェスティバル」に町の10~20代の若者を中心としたダンスチームが参加。様々な国のダンサーたちと交流し、世界各国に友達ができました。

分の意見を発信してほしいです」とPJ市のハジ・モハマド・ザッリ・ビン・ハジ・サミンゴン市長は生徒たちの目を見つめて語りかけます。

「子どもに優しい町」を共にめざしているPJ市と三芳町。子どもの意見が大切にされる町。みんなに優しい町。年齢や性別、国籍などに関わらず誰もが幸せに暮らためには、お互いの違いを認め合う「地球市民」としての意識が大切です。それはやがて世界平和の実現へとつながっていきます。その第一歩として位置づけられるのが国際交流の取り組みです。未来の地球を担う子どもたちの心に、優しさの種を蒔く活動が続いていきます。